

平成 17 年 1 2 月 2 0 日

ISAF・ORC 年次総会 報告書

JSAF 国際委員会
ORC 担当委員 小林 昇

2005 年 11 月 3 日から 13 日に亘りシンガポールにて開催された ISAF 及び ORC の年次総会の出席報告を致します。本年より ORC のコンGRESSメンバーに山崎 JSAF 会長と共に選任され、両組織の外洋に関する委員会を傍聴して情報収集を行う事。又、急務である ORCCAJ 問題について両組織の調停会議などを通じて解決策を模索し、特に ORC に対しては JSAF の姿勢を強く表明して理解を求め、公式・非公式に面談を行った。

出席会議・委員会

11 月 5 日 ISAF・ORC 共にオブザーバーの登録を行う。

10:00 ~ ORC プロモーション・開発委員会

- * ORC ウェブサイト・出版物企画やプロモーション全般について討議
- * 各委員からの PR へのアイデアが出されていた。

10:00 ~ ORC テクニカルコミッティー

- * IMS の計測変更点の検討が成されており、2006 年に向けての変化は 2005 年における程大きなものには成らない様である。
- * IMS の立ち上げから関わって来ている各国の設計者がメンバーであり、討議される内容は、専門的に高度なものであった。

14:30 ~ ORC メジャメントコミッティー

- * 計測員のコンファレンスが 2005 年 2 月期にオランダで開催されたが、ノベンパーミーティングと開催を合わせるべきとの提言がなされた。
- * IMS 計測マシンの老朽化対策について討議され、数種の市販レーザー計測器の使用と ORC のフォーマットでのオフセットファイルの容易な作成については今後も検討が必要。
- * 幾つかの提案事項の処理が成されたが多くは ITC へ送られた。

11 月 6 日 10:00 ~ ORC クラス・イベント委員会

- * ヨーロッパ(主に地中海)で盛んな Rolex IMS 世界選手権・IMS 欧州選手権・IMS600 や 670 などのイベント報告と、それらの大会のルールや基準の変更・グリーンブックについて・2006 年の大会予定などが話し合われた。

11 月 7 日 9:30 ~ ISAF オセアニックサブ委員会

- * オフショア委員会の下で、長距離や大陸間にわたる外洋レースに付いての次年度開催予定確認などが行われていた。

14:30 ~ ISAF 特別規定サブコミッティー

- * スペシャルレギュレーションの改訂項目について多岐にわたって討議、ライフラフトの仕様・将来的に商船で普及が進んでいる AIS(Automatic

Identification System)の適用・トレーニングの CAT-2 への拡大や実施例の紹介もなされた。

- * 長年この委員会の長を務めてこられたアラングリーン氏が辞任される事となった。
- * SR の改訂内容は、別途報告書を作成予定。

11月8日 14:30 ~ ORC AGM (Annual General Meeting)

- * 各委員会での討議内容の報告・必要決議事項の討論と採決が手際良くブルーノフィンチ氏によって進められた。
- * IMS と ORC クラブの証書発行数の変化について、全体では IMS が前年より 400 隻余りの減少、ORC クラブも 200 隻程の減少となるようである。IMS はドイツ・オランダとイタリア・スペイン・ギリシャで勢力を維持しているが、米国やオーストラリア等では激減している。日本は ORC クラブでドイツと同様の 350 隻、IMS は突出した隻数を持つ欧州諸国の次の集団に位置している。
- * 2005 年に発表された ORC レベルクラスとして 3 つのボックスルールクラスが ORC の IMS 再生の切り札として普及させようと言う意気込みを強く感じた。
- * コングレスメンバーとして山崎会長と共にセンターテーブルに着席しての出席であった。

以上が委員会などへの出席報告で、ORCCAJ 問題に関する活動を以下に記す。この活動は殆どの場合、林計測委員長と共に行った。

- 11月6日 12:00 ORC 計測委員長でチーフメジャーのニコラ シローニ氏と、JASF の計測問題について、非公式会話を持った。
- 12:30 ORC の ORC クラブを担当し、ORCCAJ との契約成立に関わったケン ウェラー氏と、ORCCAJ の成立について氏の意見を聞いた。
- 11月8日 8:30 I S A F 副会長のデビットケット氏によって、JSAF における ORCCAJ 問題についての調停会議が招集された、詳細は別途報告書を提出済み。
JSAF の傘の下で、JSAF と CAJ を一本化して効果的にオフショアセーラーのためになる組織の形成について基本的な組織が提案された。
- 18:00 ORC の AGM を挟んで、夕刻に再度集合し日本の 2 組織は提案された組織図を基本に一体化する事を同意し、4 組織の出席者は合意の署名を行った。

以上、報告いたします。